



きたおおじ保育園

2024年度 園だより 7月

<二歳児クラスの仲間たち>

2歳の子どもが3歳を迎える年度を「二歳児クラス」といいます。2024年度のきたおおじ保育園には、二歳クラスに5人の仲間が在園しております。親バカならぬ保育士バカの私は、5人が5人とも可愛くて！可愛くて！可愛すぎて！困ってます。どの子もみんな言う事を聞かなくて、落ち着きがなくて、わがままで、うるさくて、とっても手のかかる良い子たちです！

<良い子たちばかり>



とっても手のかかる良い子たち？ なんか変な日本語ですか？いえいえ、そんなことはありません。この子たちはいま、ものすごい勢いでいろんな発達が進んでいる中で、情緒の発達はどんどん複雑になっていき、扱いにくく手がかかって当然なのです。

「あれをしたい！これをしたい！」は意欲が育っているからです。

「いやだ！いやだ！」は自発性が育っているからです。

おもちゃを貸してあげられないのは、自分という存在をしっかりと認識できるようになった自己中心的な時期だからです。

落ち着きがないのは経験を広げていく事に夢中な時だからです。

泣いたり怒ったりが非常に激しくなるのは、過去の経験を覚えて次に生かす能力を身に着けたからです。

<すべての変化が成長>



ワガママが酷くなってきた。意地悪が酷くなってきた。落ち着きがなくなってきた。癪癪が激しくなってきた。などなど、不安になりますけど、覚えておいて欲しいのが、子どもの変化とは、「良い変化も、そうでない変化も、すべてにおいて成長なんだ」ということです。



現代の世の中はスマホで調べれば簡単に答えが出てきます。イヤイヤ期って検索をした事があるお母さんもいるんじゃないですか？これは正しい、これは間違ってる、いろんな答えが出てきますから、自分が欲しい答えに辿り着くまでひたすらスマホを眺めている。その気持ちすごくよく分かります。だけど安心してください。不安になって、スマホを眺めているのは、そこには手に余るほどの成長があるからです。

<子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じられるように>

子どもの成長というのは、ハイハイしました、つかまり立ちしました、立ちました、など、身体的な成長は分かりやすく喜びを感じやすいのですが、心の成長というのは、上がったたり下がったりすることもあるって、受け入れづらいという事もあります。

「良いことも悪いこともあるけど、それを経験することが子育ての喜びなんだ」

ということを知って、愛してやまない我が子の変化、そしてそのすべてを成長として、みんなと一緒に喜びましょう！ 7月もよろしくお祈りします！

主任保育士 糸井恵太

